一般質問 要旨

平成16年9月定例会の一般質問は、9月27日、28日、29日の3日間にわたって行われ、13人の議員が質問を繰り広げました。紙面の都合により、その一部をお知らせします。

▲9月定例会の議場風景

防災　高齢者の避難体制について

―答弁―要援護者等被災時避難体制構築研究会で検討

問　新潟県や福井県で起きた集中豪雨による死亡者の多くは、高齢者の独居世帯であった。ひとり暮らしの高齢者世帯を把握できているのか。また、災害発生時における高齢者の避難対策は。

答　現在、宇治市社会福祉協議会のもと、全小学校区に学区福祉委員会を設置し、日常的にひとり暮らしの高齢者等を中心に訪問活動等の福祉活動が行われ、災害発生時における高齢者の安否や避難誘導活動等について検討されているが、その体制は万全とは言えない状況である。

そこで、昨年度より高齢者とあわせて課題となっている身体障害者の各団体代表者、福祉施設の関係者、大学教授、学区福祉委員会の関係者及び市の関係課長等で要援護者等被災時避難体制構築研究会を立ち上げ、検討を重ねている。今後、高齢者や身体障害者を対象に災害発生時の避難についての考えを調査し、この調査結果を参考に、高齢者や身体障害者の避難体制を各団体の協力を得ながら構築する予定である。

防災　避難勧告の基準について

―答弁―河川管理者や府の情報を参考に勧告を発令

問　新潟県や福井県の豪雨災害や熊本県での土石流災害では、避難勧告が遅れ、その情報が伝わらなかったようである。本市の場合、どのような状況になれば避難勧告が出されるのか。

答　宇治川などの一級河川には警戒水位、危険水位などが設定されており、河川管理者と気象台は現在の水位と今後の雨量予測により、洪水予報や水防警報を発表する。市はこれらの情報を参考に、危険地域等を特定のうえ、避難勧告等の措置をとる。

また、京都府では、雨量観測網が整備され、これをもとに土石流災害システムが構築されている。このシステムは、過去の災害発生時の雨量をもとに、警戒雨量、危険雨量を算出し、降雨の状況により、警戒警報、避難警報が出される。市はこれらの情報を参考に、危険地域等を特定のうえ、避難勧告等の措置をとる。

また、台風や内水による災害の場合、特に基準は定めていないが、被害の状況や今後の気象予想などから関係機関と連携のうえ、判断する。

地域課題　御蔵山商店街の歩道整備について

―答弁―安心して買い物ができる歩道づくりに取り組む

問　当商店街は京阪電鉄の御蔵山開発とともに栄え、地域に親しまれて40年が経過している。商店街の歩道は老朽化が進み、歩行が危険な場所が多くなってきている。早急な歩道整備が必要と考えるが市の見解は。

答　御蔵山商店街の歩道整備については、かねてより地元要望もあり、市としても状況等を把握する中で早期の補修工事が必要と認識している。特に北側の歩道については舗装の劣化が進んでおり、放置すると転倒事故の発生が予測されることから、早期に舗装補修工事に着手するべく現在、地元調整や設計等の準備を進めている。また、南側の歩道についても勾配が急な箇所や溝ぶたの手がかりの穴など現地を調査する中で改善すべき箇所を確認しており、通行に支障をきたしている箇所から早急に修繕を行う準備を進めている。なお、他の箇所については、今後、地元と十分協議のうえ、歩行者の安全確保と安心して買い物ができる歩道づくりに取り組んでいきたい。

地域課題　近鉄小倉駅のバリアフリー化について

―答弁―市全体の整備計画に基づきバリアフリー化を推進

問　近鉄小倉駅の地下道は階段になっており、ハンディのある方にとって非常に利用しにくい現状である。バリアフリー法が施行されたことを契機として、改善が必要と思われるが市の見解は。

答　近鉄小倉駅の地下東西通路は現在、駅利用者だけでなく駅の東西を連絡する自由通路として、地元の方が利用され、現状が階段のためハンディのある方の利用には不便となっている。

国の方針では、利用者が1日5000人以上の駅及びその周辺地区を重点整備地区として設定（市内14ある駅のうち11駅が該当）し、平成22年までにバリアフリー化を実施することを目標としている。

本年8月宇治市交通バリアフリー全体構想検討委員会を発足し、年度内に全体構想の策定を行い、それを踏まえて重点整備地区に指定された地区において基本構想に取り組む予定で、その基本構想で策定された整備計画に基づき具体的な事業を実施し、駅及びその周辺のバリアフリー化を推進していきたい。

まちづくり　広野のまちづくりについて

―答弁―整備構想策定の中で積極的に協議・検討

問　広野のまちづくりが叫ばれて久しいが、交通事情は悪化するばかりである。新宇治淀線の事業化、JR新田駅の橋上化、自由通路の建設、JR新田・近鉄大久保駅連絡通路の新設が急務と考えるが市の見解は。

答　現在、大久保駅周辺地区整備構想を策定するため地元住民、学識経験者、鉄道事業者、府及び市の行政機関がお互い連携を図りながら平成17年度末の完成を目指している。

道路及びJR新田駅の橋上化、自由通路は都市計画マスタープランや交通バリアフリーとの整合を図りながら、従来の点あるいは線的な整備ではなく、さまざまな事業を取り込んだ面的な整備を実施していくことが真のまちづくりにつながると考え、整備構想策定の中で積極的に協議し検討していきたい。特に、新宇治淀線の事業化は以前から府に要望を重ねてきており、本市のまちづくりと、これに伴い必要となる主要な幹線道路として位置付け、事業化に向けて強く要望していきたい。

▲JR新田駅

議会日誌

平成16年9月

9日　議会運営委員会
15日　議会運営委員会
16日　本会議（招集・提案説明等）
各派幹事会
21日　議会運営委員会
本会議（議案審議・委員会付託等）
全員協議会
委員長会議
27日　本会議（一般質問）
各派幹事会
28日　本会議（一般質問）
29日　議会運営委員会
本会議（一般質問・議案審議）
30日　総務常任委員会

平成16年10月

1日　文教福祉常任委員会
4日　市民環境常任委員会
建設水道常任委員会
6日　文教福祉常任委員会
7日　議会運営委員会
8日　本会議（議案審議等）
議会だより編集委員会
各派幹事会